

創立71周年  
令和3年度 6月号



# 咲かせよう大正の花

## つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



### 言葉を豊かにする

園長 北村 恵

4歳児ばんだ組の子供たちは、最近おしゃべりがとても楽しいようです。必ず「園長先生！」と呼び止められます。『なあに？』『あのね、このイチゴ僕が作ったの(と、Aちゃんが壁面の折り紙で作ったイチゴを指さします)』『おいしそうね。食べちゃいたいぐらい』『こっちはBちゃんのイチゴだよ』『イチゴいっぱいできたね~』『あのね、イチゴのばあばのところにはいちごがもっとい~っぱいあるんだよ。』もしや、イチゴを作っている農家さんなのかなと思い、『大きなビニールのおうち？』と聞くと、「わかんないけど、取るときは機械で上にあげるんだよ(それはきっとイチゴのビニールハウスですね)』『おいしいイチゴたくさん食べられるね』『でもね、遠いの飛行機で行くの！』と言った途端、そばで空き箱制作をしていたCちゃんが「私んちにはね、飛行機のばあばと、電車のばあばがいるの！飛行機のばあばは遠いんだよ」と言い、そこからまた二人のおしゃべりが広がりました。

4歳児は友達のそばで遊ぶことが楽しくなってきたので、面白そうな場には何人も集まります。だからこそ、喧嘩やトラブルもたくさん起きます。「ここ、僕が座るの！」「僕も座りたい」「さっきそっちにいたじゃん」「こっちがいいの！」

場所の取り合いだったり、順番だったり、時には物の置き方だったり。「ダメ、置かないで！」「ここがいい！」「ダメ！」「ここに置くの！」などと言い争い、泣き声が聞こえることも日常茶飯事です。「先生！Dちゃんが泣いてる！』『どうしたの？』『ここに積み木置いちゃ嫌なの！なのに、Eちゃんが置くの』『Eちゃんはここに置きたいの？』『うん、だって机にしたいの』『そしたら、おうちには入れないじゃん』。さっきまでは嫌！とかダメ！しか言えなかった子供たちは先生の問いかけで、理由を話し始めます。先生もその言葉を『そうか~机にしたかったんだね~。でも、ここに置かれたらおうちに入れないんだね~』と、復唱しながらそれぞれの思いに寄り添っていきます。先生の言葉を聞きながら、子供たちは相手の思いを知り、自分の思い主張するだけではなく、折り合いをつける方法を探っていきます。「じゃあ、こっちを入り口にする？」「机でご飯食べられるね」などという言葉も出るようになります。

幼児期に、たくさんの言葉を知ったり使えるようになったりすることは、小学校以降の学習の基礎になると共に、円滑な人間関係を築いていくための重要なスキルとなります。

4歳児の事例のように、自分が作ったものや困っていることなど、話したいと思う題材があり、話を聞いてくれる相手がいることで、自分なりの言葉を使えるようになります。幼稚園で、伸び伸びと自分を出して遊ぶ中で、心を揺り動かされるたくさんの経験をし、話す喜びや聞く楽しさを積み重ねてほしいと思います。どうぞ、ご家庭でもたくさんの何気ないおしゃべりを楽しんでください。